

## 平成24年度事業報告書

社会福祉法人けやきの村

未曾有の大震災・原発事故からの2年が経過しました。しかし、未だ本当の意味での復旧・復興にはほど遠く、道程はまだまだ険しいものがあるのが現実です。私たちは、この厳しい環境を乗り越えなければなりませんし、大地震と原発事故の記憶を決して風化させることなく、社会福祉法人としての使命を果たさなければならないと新たな決意を胸にするものです。

平成24年3月に「青松苑」「静心園」が新事業体系に移行し、平成24年度は「けやきの村」「青松苑」「静心園」の3施設が障害者支援施設として事業を展開した初年度となりました。また、平成25年3月には、福島市の指定を受けて「けやきの村指定特定相談支援事業所」を立ち上げ、地域の障害者も含めた相談支援、日中活動の場の提供、一般就労も含めた就労支援、居住支援、在宅障害者及びそのご家族の支援と多様な障害福祉サービスを展開することができるようになりました。

ハード面の整備に伴って、福島市内の特別支援学校5校の高等部の生徒を中心に実習を希望する生徒が増加するだけでなく、卒業後の進路として通所での利用につながるケースが増加してきました。また、在宅での生活を支えてきた家庭の環境の変化等により、在宅での生活が困難になるケースも増加し、入所することで安全・安心を確保することができたケースも増えています。決して十分ではありませんが、地域が必要としている障害福祉サービス、介護保険サービスが提供できる地域の社会福祉の中核施設として認められていることを実感した1年でした。

本法人は、ノーマライゼーションの理念と利用者の意思決定のプロセスを大切にするとともに、社会福祉法第3条に規定する「福祉サービスの基本理念」、同第4条の「地域福祉の推進」及び第5条の「福祉サービスの提供の原則」を基本とした『経営理念』、また中・長期計画としての『経営方針』・『福祉ビジョン』、さらには職員が利用者本位の質の高いサービスの提供と開発に努め、社会福祉の推進と福祉サービス利用者の自己実現をめざすための『職員行動規範』を遵守するとともに、利用者の福祉向上を至上命令とし、「職員の意識改革」・「仕組み、体制の総点検」・「指示系統の徹底」・「意思・意識の共有」を継続して推進しました。

高齢者に関わる事業については、飯坂北地区の福祉拠点としてデイサービスセンター指定通所介護事業所、指定居宅介護支援事業所、福島市飯坂北地域包括支援センターと訪問介護・居宅介護を行うけやきの村ヘルパーステーションが、在宅高齢者等への福祉サービスを提供するため、事業計画に基づき事業を実施しました。

### 第1 施設の運営管理

施設利用者の基本的人権を尊重し、施設環境の保全に努め、施設利用者が生活の場として快適な日々が過ごせるよう努めました。

#### I. 施設内外の環境及び備品等の整備

##### ① けやきの村

- 全自動洗濯脱水機修理
- 新館機械浴マット交換及びストレッチャー修理
- 汚物除去機修理
- 旧館居室畳替え
  - // 居室網戸設置工事
  - // トイレ入口建具修繕
  - // 浴槽給湯ボイラー設置工事
  - // トイレ・浴室シャワーカーテン取替え
  - // 浴室シャワー水栓取付工事
  - // 浴室追炊き循環経路洗浄

II 内部改修工事（クラック補修）

喫煙所間仕切り設置工事

就労玄関自動扉修理

厨房スチームコンベクション修理

GHP室外機等修理

プリンター購入（生活支援課）

保管庫購入（生活支援課）

シュレッダー購入（生活支援課、ヘルステ）

冷蔵庫購入（生活支援課）

掃除機購入（生活支援課）

デスクトップ型パソコン購入（2台）（生活支援課、就労支援課）

絵画2枚寄贈（上田直美様）

車椅子1台寄贈（曙ブレーキ工業労働組合福島支部様）

冷蔵庫1台寄贈（連合福島福島地区連合会様）

加湿器1台寄贈（福島市市民懇話会・パナソニックAVCネットワーク労働組合様）

特定相談支援事業所初度設備（福島市相談支援発展推進支援事業補助金）

複写機・デスクトップ型パソコン3台・テーブル・椅子3脚・戸棚3台  
黒板・電話機

② 青松苑

ギャジベッド一式購入（2台）

厨房室用エアコン取付工事

デスクトップ型パソコン購入（事務用3台）

高圧蒸気滅菌装置購入

福祉車両の整備（日本財団助成事業；車いす対応軽自動車）

GHP室外機修理

避難誘導灯修理

上水給水バルブ交換修理

洗濯機寄贈（福島市市民懇話会・パナソニックAVCネットワーク労働組合様）

③ 静心園

地下油槽内部ライニング工事

天井扇交換及び増設工事

ケアコーナー及び居室照明器具増設工事

3モーターギャジベッド更新（2台）

玄関隔て壁修繕工事

④ 桃の里

空調設備の諸修繕

ホール喫煙所換気扇取付工事

井水給水加圧ポンプ修理

浴室リフター修理

給湯温水器熱交換器水漏れ修理

II. 消火避難訓練及び防災設備等の点検等

- ① 毎月1回火災を想定しての避難訓練の実施、また地震、水害等を想定した避難訓練を実施し、迅速・適切な避難行動がとれるよう努めました。
- ② けやきの村と青松苑の合同および静心園において、地域の方々および消防署、消防団、関係団体の代表者と施設職員による総合防災対策協力者懇談会を開催し、非常事態発生時に備え協力体制の強化を図りました。
- ③ 年2回消防設備法定点検を実施しました。
- ④ 飯坂消防署による防災設備等の立入検査ならびに夜間防火管理体制検証を受けました。

- ④ コンセントのたこ足配線や綿ごみ等による自然発火を防止するため、居室内のコンセントの点検と電化製品の配線等の点検を実施しました。

### Ⅲ、事故防止の徹底

- ① 利用者がそれぞれの施設・事業所において安心・安全な生活が送れるよう、ヒヤリ・ハット（インシデント）、事故（アクシデント）報告書による未然防止や再発防止に努めました。

	件数	内 訳					
		転倒	外傷	破損	服薬	火傷	その他
けやきの村	51	41	4	1	—	—	5
青松苑	28	15	5	—	1	1	6
静心園	54	18	2	—	6	—	28
ヘルパーステーション（居宅介護・訪問介護）	—	—	—	—	—	—	—
指定通所介護事業所	1	1	—	—	—	—	—
指定居宅介護支援事業所	—	—	—	—	—	—	—
飯坂北地域包括支援センター	—	—	—	—	—	—	—
合計	134	75	11	1	7	1	39

- ② 事故防止のため、建物内の巡視を日常的に実施し、危険箇所及び危険物の早期発見に努め、整理整頓、居住環境の整備に努めました。
- ③ 介護中の事故の絶無に努めました。
- ④ 安全運転管理者の指導のもと、交通事故防止に努めました。

### Ⅳ、大規模災害時の防災対策

- ① 大規模災害の発生に備えて、非常電源の保守点検、食料品など非常備蓄品の計画的な購入、避難訓練の実施等、有事に備えました。
- ② 平成24年2月に福島市内で大規模な災害が発生した際、災害時要援護者が避難する場所として「災害発生時における福祉避難所の指定に関する協定」を福島市と締結後、福島市主催の「福祉避難所に関する各協定先との連絡会議」に出席し、福祉避難所として開設を要請された場合の施設側の対応について協議しました。

## 第2 地域の在宅要援護高齢者等に対するサービスについて

デイサービスセンター指定通所介護事業所・指定居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・ヘルパーステーションにおいてそれぞれの業務を実施し、地域の在宅要援護高齢者等の福祉の向上に努めました。

### I. デイサービスセンター指定通所介護事業所

介護を要する認知症や疾病等により身体が虚弱、または身体上、精神上的の障害により日常生活を営むのに支障がある高齢者および障害者を対象として、看護職員や生活相談員および介護職員が、健康状態の確認、食事、入浴、日常動作訓練、レクリエーションを家庭での生活の一部として行い、安心と信頼のきめ細かいサービスの提供に努めました。

☆利用状況	利用実日数	284日
	利用延べ人員	5,019人（前年度比+10%）
	平均利用者数	19.2人（前年度比+11%）
	ホリデー平均	3.7人（前年度比-18%）

### II. 指定居宅介護支援事業所

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定の尊重」・「自分らしい生活の継続」および「自立支援」を基本として、常に利用者の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、そのプランに従ってサービスが提供されるよう多種多様な事業者と調整し、利用者やその家族の多様な希望や要望に対応するよう努めました。また、地域包括支援センター、病院、行政等関係機関との連携を密にして、公平中立な立場で適正な居宅サービス計画の提供が行えるよう事業所間連絡調整を充実させ、利用者の選択に基づいた支援に努めました。

ケアプラン作成 1, 220件 (前年度比+ 2%)  
 認定訪問調査受託 329件 (前年度比- 24%)

### Ⅲ. 飯坂北地域包括支援センター

高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、高齢者が住みなれた地域で、尊厳のあるその人らしい生活を継続できるよう、公正・中立な機関として、地域の高齢者等の心身の健康の保持および生活の安定のために、地域の保健・医療・福祉サービスやインフォーマルなど多様な社会資源を適切に利用できるよう支援するとともに、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的かつ継続的に支援することに努めました。

#### ①総合相談支援事業

相談件数	1, 832件 (前年度比+9%)
サービス担当者会議	199回 (前年度比+6%)
連絡調整	1, 430回

#### ②介護予防ケアマネジメント事業

介護予防プラン作成	29件 (前年度比+13件)	
介護予防教室の開催	42回 (前年度比-19回)	平成23年度介護予防実態調査分析支援事業30回分がなくなったため
住宅改修プラン作成	1件 (前年度比± 0件)	高齢者住宅改修助成事業

#### ③包括的・継続的ケアマネジメント事業

北方部地域ケア会議の開催	3回 (前年度比+1回)
飯坂方部・医師会合同ケア会議開催	1回 (前年度比±0回)
認知症ファシリテーター養成講座	4回

#### ④権利擁護事業

虐待への対応	5件 (前年度比+2件)
消費者被害への対応	被害予防のための教室を2回開催。その他随時相談
成年後見制度、日常生活自立支援	制度活用0件。その他随時相談

#### ⑤介護予防支援業務

ケアプラン作成	1, 148件 (前年度比+17%)
---------	--------------------

### Ⅳ. ヘルパーステーションけやきの村

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体その他の状況およびその置かれている環境に応じて、入浴・排泄及び食事等の介護、調理・洗濯及び掃除等の家事ならびに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般の援助の適切かつ効果的な実施に努めました。

ヘルパーステーションけやきの村サービス提供内容					
介護保険			障害福祉サービス		
延べ利用者数	派遣回数	稼働時間	延べ利用者数	派遣回数	稼働時間
485名	5,362回	4,635時間04分	44名	1,115回	1,197時間30分
前年度比+2%	前年度比+9%	前年度比-4%	前年度比-15%	前年度比+3%	前年度比+7%

### Ⅴ. けやきの村指定特定相談支援事業所

平成25年3月1日、障害福祉サービス利用者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントの手法によるきめ細かな支援を行うため、福島市の指定を受けて特定相談支援事業所を立ち上げました。

### 第3 社会福祉法の施行に伴う対応について

- ① 苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員からなる苦情解決委員会において福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を幅広く汲み上げ、サービスの改善を図るための苦情解決制度の推進に努めました。

▽苦情解決委員会の開催

日 時；平成24年6月12日（火） 午前11時～

場 所；けやきの村2F集会室

出席者；第三者委員・理事長・常務理事・各事業所苦情解決責任者及び苦情受付担当者

苦情の内容；下記のとおり（平成24年度分）

	受付 件数	処理 件数	苦 情 内 容					
			職 員 の 対 応	サ ー ビ ス 内 容	説 明 情 報 提 供	被 害 ・ 損 害 事 故	権 利 侵 害	そ の 他
けやきの村 就労支援事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
” 生活介護事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
” 訪問介護事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
青 松 苑	1	1	-	-	-	-	-	1
静 心 園	-	-	-	-	-	-	-	-
指 定 通 所 介 護 事 業 所	-	-	-	-	-	-	-	-
指 定 居 宅 介 護 支 援 事 業 所	-	-	-	-	-	-	-	-
飯坂北地域包括支援センター	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	1	1	-	-	-	-	-	1

- ② 利用者主体のサービス、利用者の生活の質やエンパワメントの向上を図るための取り組みとして、サービスに対する自己評価を行い、質の高いサービスの継続的な提供に努めました。
- ③ 法人の機関紙として「けやきの村便り」を発行し、サービス内容に関する情報の提供、財務諸表、事業報告書等の開示を行い事業の透明性に努めるとともに、障害者制度改革の経過等についての情報を利用者及び家族、出身世帯等に提供しました。また、静心園においては施設情報紙「せきば」を発行し、施設の活動内容等の状況を地区町内会の皆様と出身世帯に提供しました。

### 第4 施設利用者へのサービスの提供について

施設利用者個々の特性を把握し、その人に適した生活支援、健康管理、就労支援、職業指導および必要な機能維持のための訓練、介護を行い、適切かつ効果的なサービスの提供に努めました。

#### I. 支援方針の確立

年度当初において、施設利用者個々の態様に適した支援方針を確立し支援を行いました。また、年度途中においてモニタリングを実施し、当初の支援方針に基づいたサービスが提供されたかどうか、支援の効果が適切であったかどうか、施設利用者の充足度や今後の課題等について話し合いを行い、計画の達成度等について分析評価し、施設利用者の意向を尊重しながら支援方針の見直しを行いました。

#### II. 地域生活移行の推進

障害者自立支援法の大きな目標の一つである地域生活への移行について、けやきの村の就労事業における入所利用者を対象に地域生活体験事業や就職活動等を積極的に行いました。平成24年度は地域生活移行者はありませんでしたが、継続的に様々な体験を積み重ねることで利用者本人の動機付けはもちろん、地域生活移行についての父兄の理解を深める機会と考え、今後も様々な体験を計画的継続的にできるよう推進していきます。

総合体験（1泊2日）2回実施、利用者4名参加

総合体験（2泊3日）1回実施、利用者3名参加

調理体験 1回実施、利用者5名参加

社会資源体験 2回実施、利用者4名参加

### Ⅲ、各種訓練等の実施

- ① 施設利用者の社会適応性を培うために外出が困難な方を対象に介護外出を実施しました。
  - けやきの村 27回 64名参加
  - 青松苑 11回 22名参加
  - 静心園 20回 34名参加
- ② 一泊旅行を実施しました。
  - けやきの村 鬼怒川温泉方面（就労事業利用者対象）利用者24名、父兄6名参加
  - 飯坂温泉ホテル聚楽（生活介護利用者対象）3回実施、利用者8名参加
- ③ 日帰り旅行を実施しました。
  - けやきの村 猪苗代・裏磐梯方面（就労事業利用者対象）利用者10名、父兄4名参加
- ③ バスハイクを実施しました。
  - けやきの村 四季の里等（生活介護利用者対象）6回実施、利用者35名参加
  - 青松苑 サファリパーク方面 1回実施、利用者6名参加
  - ヤクルト工場見学 3回実施、利用者21名参加
- ④ 出身家庭との交流を深めるため、お盆休暇、年末年始休暇を実施しました。
  - お盆休暇 8月13日～8月16日（4日間）
  - 年末年始休暇 12月29日～1月3日（6日間）

### Ⅳ、各種行事の実施

- ① 毎月実施したもの
  - 誕生会・園長相談・各種クラブ活動・喫茶・創作活動
- ② 季節毎に実施したもの
  - 花見・納涼祭・老人の日を祝う会・芋煮会・クリスマス会・新年会
  - 成人の日を祝う会・節分・ひな祭り
- ③ その他
  - 開園記念日・事業開始記念日・アニマルセラピー・福島市福祉作品展への出品・中野地区展覧展への出品・ゲーム大会・その他各種招待行事等への参加

### Ⅴ、健康管理

- ① 結核検診・成人病検診 年2回
- ② 体重測定・血圧測定 毎月
- ③ 嘱託医の出務
  - けやきの村生活介護事業所、静心園は毎週1回、けやきの村就労支援事業所、青松苑は毎月2回出務して、施設利用者の健康管理にあたりました。
- ④ 機能訓練士の出務
  - けやきの村生活介護事業所は毎週2回、静心園は毎週3回出務して機能訓練にあたりました。
- ⑤ インフルエンザ感染予防のため、利用者及び全職員が予防接種を受けました。
- ④ 口腔ケア対策として、歯磨き指導、除石等を青松苑・静心園で行いました。
- ⑤ 平成24年度から「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」に伴い介護職員等による喀痰吸引等の実施のための制度が整備されました。それに伴い、施設・事業所として喀痰吸引等の医行為を実施するため、「登録特定行為事業者」として福島県に登録を行いました。
  - 障害者支援施設けやきの村 登録番号072000014
  - 事業開始登録；平成24年4月1日
  - 実施する喀痰吸引等（特定行為）の行為
    - ◎口腔内の喀痰吸引
    - ◎鼻腔内の喀痰吸引
    - ◎胃ろう又は腸ろうによる経管栄養
  - 障害者支援施設静心園 登録番号072000015
  - 事業開始登録；平成24年4月1日
  - 実施する喀痰吸引等（特定行為）の行為

- ◎口腔内の喀痰吸引
- ◎鼻腔内の喀痰吸引
- ◎気管カニューレ内部の喀痰吸引
- ◎胃ろう又は腸ろうによる経管栄養
- ◎経鼻経管栄養

## VI. 給食

- ① 給食サービスの提供にあたっては、委託先の栄養士と連絡を密にするとともに、各施設の給食委員会にも同席してもらい利用者の要望等を直接伝えることにより、献立・給食の提供方法等に反映させ、利用者の満足度を高めることに努めました。
- ② アンケート方式による嗜好調査を実施し、その結果を献立に反映させました。
- ③ 毎月1回給食委員会を開催し、施設利用者の要望等をとりいれ献立をたてました。
- ③ 施設利用者の要望に基づき、選択メニュー、鍋物、バイキング形式の食事を提供しました。
  - けやきの村 選択メニュー（鍋物、バイキング等を含む） 53回
  - 青松苑 選択メニュー（鍋物、バイキング等を含む） 12回
  - 静心園 選択メニュー（バイキング等を含む） 35回
- ⑤ 受託業者のおすすめ献立等を積極的にとりいれ、メニューの充実に努めました。
- ④ 栄養士連絡会を毎月1回開催し、給食に関する打合せを行い、給食の質の向上に努めました。

## VII. 身体障害者短期入所事業の実施について

指定短期入所事業所けやきの村及び静心園において実施しました。

短期入所	けやきの村	静心園
延利用人員	77人（前年度比-14人）	—
延利用日数	304日（前年度比+4%）	—
実利用人員	14人（前年度比+3人）	—

## 第5 就労支援及び就労継続支援について

- ① 社会全体のデフレ不況の中で受注量の減少や、施設利用者の重度化、高齢化による作業能力の低下も年々高まりつつ中で、各企業からの受注の確保及び新規開拓に努め、次の工賃配分実績をあげました。
  - けやきの村 年間事業収入 12,152,621円（前年度比 +1.6%）
  - 月平均工賃（B型） 14,605円（前年度比 -1.3%）
  - 〃（移行） 16,394円（前年度比 +3.2%）
  - 〃（生活） 477円（前年度比+43.7%）
  - 青松苑 年間事業収入 4,744,337円（前年度比+15.5%）
  - 月平均工賃（B型） 29,167円
  - 〃（生活） 6,798円
- ② 「けやきの村・青松苑就労関係合同会議」を年5回開催し、今後の就労（授産）事業のあり方、戦略、分業と協業、新規自主製品の取組み等の協議を行いました。
- ③ 就労移行支援事業所（けやきの村）においては、ハローワークや障害者就業サポートセンター等との連携の中で、一般企業等への就職者2名を輩出するなど、障害者が地域で自立した生活が送れるよう、その基盤づくりに努めました。
  - ・一般企業等就職者数 2名
  - ・ハローワーク登録者数 10名
  - ・企業採用試験等応募者数 12名（実人員8名）

- ④ 養護学校の生徒の卒業後の進路対策（卒業後の利用先）として、下記のとおり13名の生徒の実習受入れを行いました。

学 校 名		けやきの村	青 松 苑
県立大笹生養護学校	高等部2年	1	2
//	3年	1	
県立郡山養護学校	2年	1	
//	3年	1	
県立福島盲学校	2年		1
福島市立福島養護学校	高等部2年	2	
//	3年	1	
福島大学附属特別支援学校	高等部1年	1	
//	2年	1	
//	3年		1

## 第6 人材育成・職員の資質の向上について

- ① 人材の育成及び人材の確保と一人ひとりの職員の資質の向上及び外職種との連携は、利用者満足度を高めるための基盤であるという認識の下、現在の『社会福祉法人けやきの村キャリアパス』に基づく人事制度を更にブラッシュアップするため、情報収集に努めました。
- ② 施設利用者のニーズの多様化に対応するため、下記のとおり職員の研修に努めました。

	けやきの村		青 松 苑		静 心 園		桃 の 里	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
法人主催 新任職員研修会	1	3	-	-	1	5	-	-
// 普通救命講習会	1	3	-	-	1	5	-	-
// 役付け職員研修会	1	8	1	6	1	6	1	2
施設主催 勉強会等	-	-	-	-	4	42	-	-
県研修センター主催による研修会	17	18	4	4	19	19	5	6
関係団体主催による研修会	16	22	4	4	11	16	8	13
介護支援専門員協会等研修会	-	-	-	-	-	-	3	4
登録ヘルパー研修会	1	9	-	-	-	-	-	-
たん吸引等指導者要請講習会	-	-	-	-	1	1	-	-
たん吸引等基本研修会（特定の者）	2	7	2	5	1	4	-	-
たん吸引等基本研修会（不特定の者）	1	1	1	1	2	2	-	-

## 第7 地域との交流について

- ① 地域に開かれた施設、地域社会の理解と協力が得られる施設づくりをめざし、中野婦人会・JA新ふくしま女性部・平野婦人会・かめのこクラブ等のボランティア活動の受入れや、桃の里においては中野小学校や飯坂保育所の子供たちとの交流会を行うなど地域との交流に努めました。また、中野地区展覧会の実行委員に加わり、地域活動を支える団体として一翼を担いました。
- ② 9月30日けやき祭を開催し、地域との交流に努めました。また、花見会や芋煮会には地域の方々を招待し、利用者との交流の時間を設けるなど積極的に地域活動を推進しました。
- ③ 福島市障がい者記念事業の実務担当者として参加し、障がい者週間の啓蒙活動に寄与しました。





通所介護	安定した事業継続が可能となる収入（利用者）の確保（詳細は第2①及び別表1⑨参照）	○		
	広報活動の充実	○		
居宅介護支援	法人内有資格者のケアマネージャー登用等	×		
地域包括	介護予防利用者の拡大（詳細は第2③Ⅱ及びⅤ参照）	○		
	高齢者の権利擁護・虐待防止への取組み強化（詳細は第2③Ⅳ参照）	○		
	健康教室等の積極的開催（詳細は第2③Ⅱ参照）	○		
	地域の高齢者支援の拠点としての機能充実	○		
居宅介護（障害） 訪問介護（介護）	安定した事業継続が可能となる収入（利用者）の確保（詳細は第2④及び別表1⑩参照）	○		

(2) 地域生活移行に向けた取り組み

区 分	実 施 項 目	24	25	26
相談支援事業	障害者就業・生活支援センター等との連携の強化	△		
居住支援	障害者住宅の利用促進	×		
	グループホームの設置検討	×		
	バリアフリー共同住宅やバリアフリーアパート等の設置検討	×		

(3) 法人事務局体制の強化

区 分	実 施 項 目	24	25	26
事務局体制	経営方針・行動指針に基づく体制の強化	△		
	新会計基準への移行	△		
人材育成	職員の意識改革を促す研修の継続実施	○		
	専門性確立のための研修計画の作成及び実施	○		
	キャリアパスに基づく人事制度構築の推進	△		
サービスの質向上	サービス自己評価の実施	○		
	第三者評価導入の検討	×		
	法人内評価基準及び評価体制の確立	×		

別表1

## ①けやきの村生活介護事業所

実施項目	区分	定員数	20年度末 利用者数	21年度末 利用者数	22年度末 利用者数	23年度末 利用者数	24年度 利用者数	達成率
利用者の確保	入所	52	52	51	51	51	51	102%
	通所		2	2	2	3	2	

## ②けやきの村就労支援事業所（B型・移行）

実施項目	区分	定員数	20年度末 利用者数	21年度末 利用者数	22年度末 利用者数	23年度末 利用者数	24年度 利用者数	達成率
利用者の確保	入所	60	32	30	28	27	26	88.3%
	通所		13	17	23	27	27	

## ③通所者の送迎利用状況（20年4月より実施）

20年4月 の利用者数	21年3月 の利用者数	22年3月 の利用者数	23年3月 の利用者数	24年3月 の利用者数	25年3月 の利用者数	増加率 (対前年比)
6名	10名	16名	18名	22名	19名	86.4%

## ④けやきの村短期入所事業所

目標値	区分	20年度 実績	21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	達成率 (稼働率)
稼働率50% (365日)	延利用者数	54	85	70	91	77	—
	延利用日数	270	336	197	292	304	83.3%

## ⑤青松苑生活介護事業所

実施項目	区分	定員数	24年度末 利用者数	達成率
利用者の確保	入所	30	30	103%
	通所		1	

## ⑥松苑就労継続支援B型事業所

実施項目	区分	定員数	24年度末 利用者数	達成率
利用者の確保	入所	10	6	80%
	通所		2	

## ⑦障害者支援施設静心園

実施項目	区分	定員数	24年度末 利用者数	達成率
利用者の確保	入所	52	48	92.3%
	通所		0	

## ⑧静心園短期入所事業所

実施項目	区分	23年度 実績	24年度 実績
空床利用	延利用者数	6	0
	延利用日数	125	0

## ⑨通所介護事業所（デイサービスセンター桃の里）

実施項目	区分	目標値	20年度平 均利用者数	21年度平 均利用者数	22年度平 均利用者数	23年度平 均利用者数	24年度平 均利用者数	達成率
利用者の確保	平日	18	16.3	15.6	14.9	17.3	19.2	106.7%
	ホリデイ	10	8.2	6.7	6.3	4.5	3.7	37%

## ⑩訪問介護事業所（ヘルパーステーションけやきの村）

実施項目	区分	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績
サービス提供時間	介護保険	3,561	4,262	4,228	4,921	4,635
	障害福祉	146	691	1,243	1,121	1,197